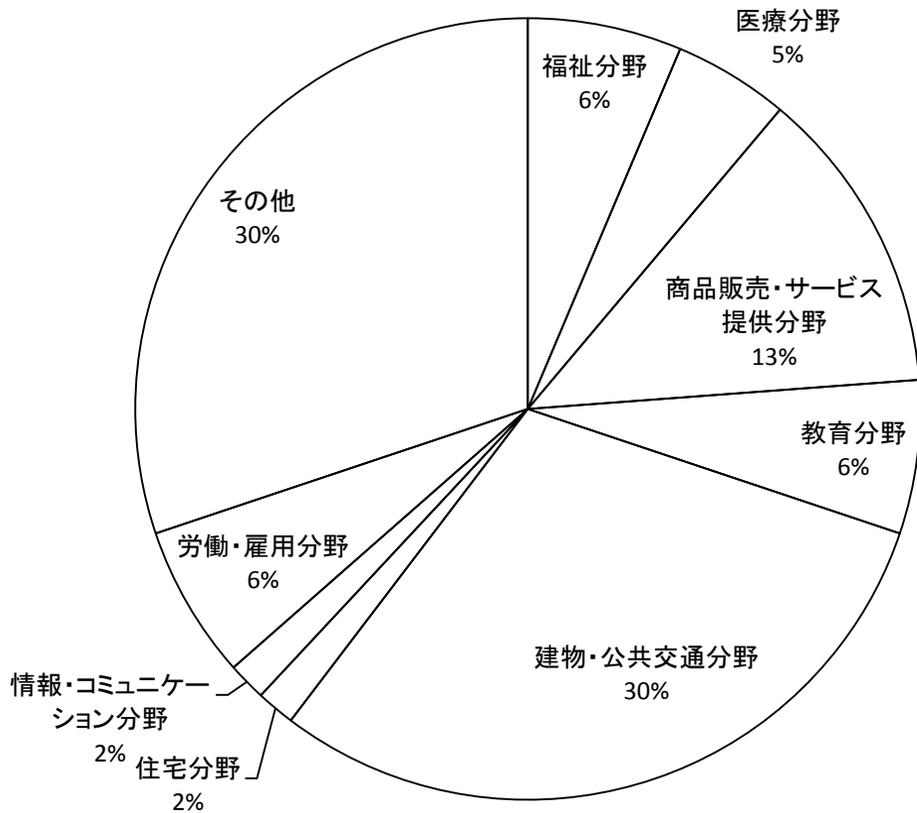


< 相談実績 (平成27年度) >

【1 相談分野別】



○「その他」を除き、相談が多かった分野は、「建物・公共交通分野」の19件、次いで「商品販売・サービス提供分野」の8件

○「その他」の19件の内訳は、支援制度の質問7件、自治会活動に関するもの2件 等

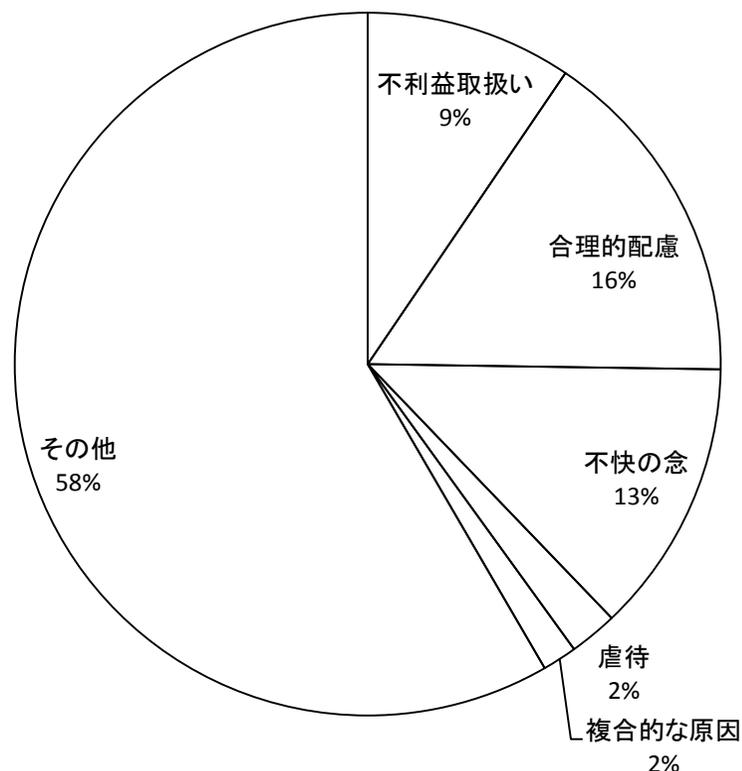
相談分野	件数
福祉分野	4
医療分野	3
商品販売・サービス提供分野	8
教育分野	4
建物・公共交通分野	19
住宅分野	1
情報・コミュニケーション分野	1
労働・雇用分野	4
その他	19
合計	63

< 相談実績(平成27年度) >

【2 特定相談等の種類別】

○条例の特定相談に該当すると考えられるものは、26件、相談全体の41.3%

○「その他」の37件の内訳は、条例第5条の「環境の整備」に該当と思われるハード面の整備等7件、各種制度の質問等8件などとなっている。

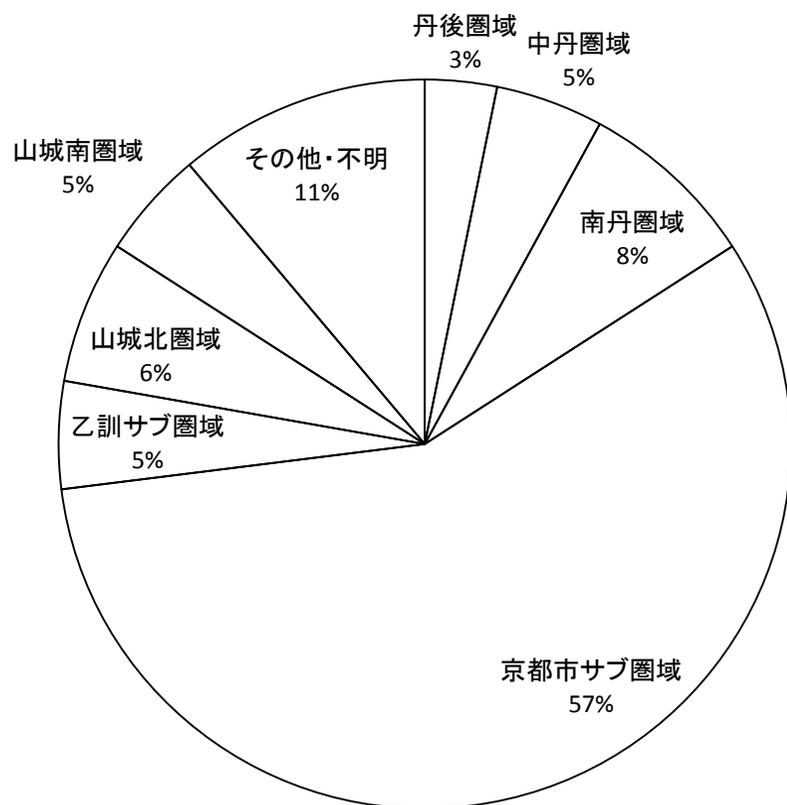


特定相談の種類	件数
不利益取扱い	6
合理的配慮	10
不快の念	8
虐待	1
複合的な原因	1
その他	37
合計	63

< 相談実績(平成27年度) >

【3 発生地の圏域別】

○発生地は、京都市サブ圏域が57.1%を占めるが、概ね府内の人口分布(57.5%)に合致する
 ○「その他」の7件の内訳は、不明5件、大阪府内1件、兵庫県内1件

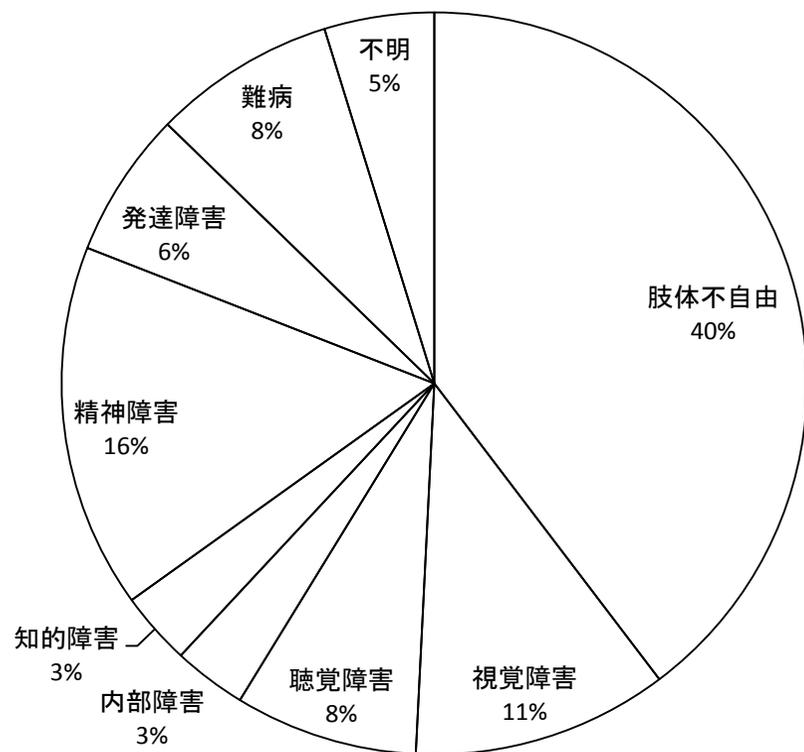


圏域名	件数
丹後圏域	2
中丹圏域	3
南丹圏域	5
京都市サブ圏域	36
乙訓サブ圏域	3
山城北圏域	4
山城南圏域	3
その他・不明	7
合計	63

< 相談実績（平成27年度） >

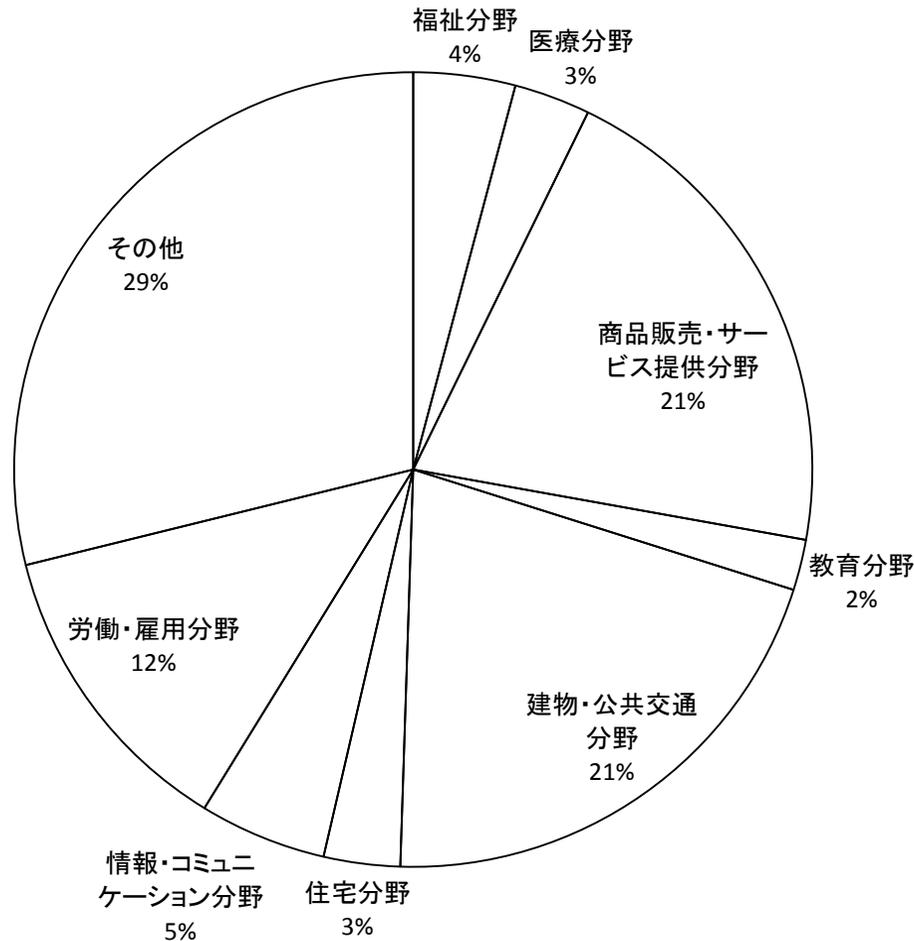
【4 相談者等の障害種別別】

○複合して障害をお持ちの方については、相談内容に関係が深いと考えられる障害種別で分類した
○身体障害をお持ちの方からの相談が62%を占めているが、車いす利用者の方からのバリアフリー関係の相談が多かったためと思われる



障害種別	件数
肢体不自由	25
視覚障害	7
聴覚障害	5
内部障害	2
知的障害	2
精神障害	10
発達障害	4
難病	5
不明	3
合計	63

<相談実績(平成28年度暫定版)>

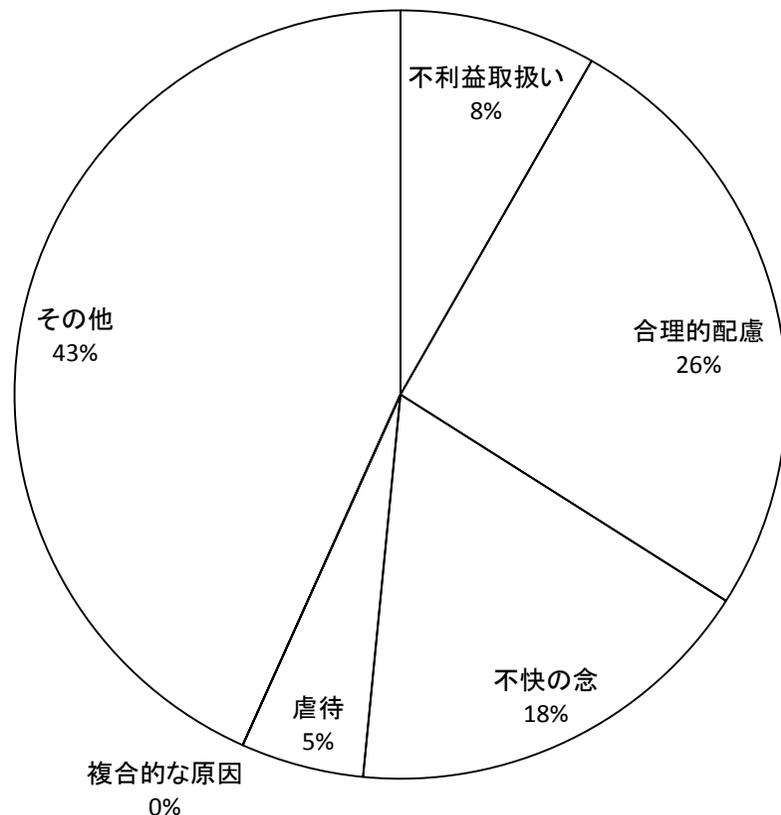


【1 相談分野別】

- 「その他」を除き、相談が多かった分野は、「建物・公共交通分野」及び「商品販売・サービス提供分野」でそれぞれ20件
- 「その他」には、公的機関での対応に関するもの、家庭に関するもの 等

相談分野	件数
福祉分野	4
医療分野	3
商品販売・サービス提供分野	20
教育分野	2
建物・公共交通分野	20
住宅分野	3
情報・コミュニケーション分野	5
労働・雇用分野	12
その他	28
合計	97

< 相談実績（平成28年度暫定版） >



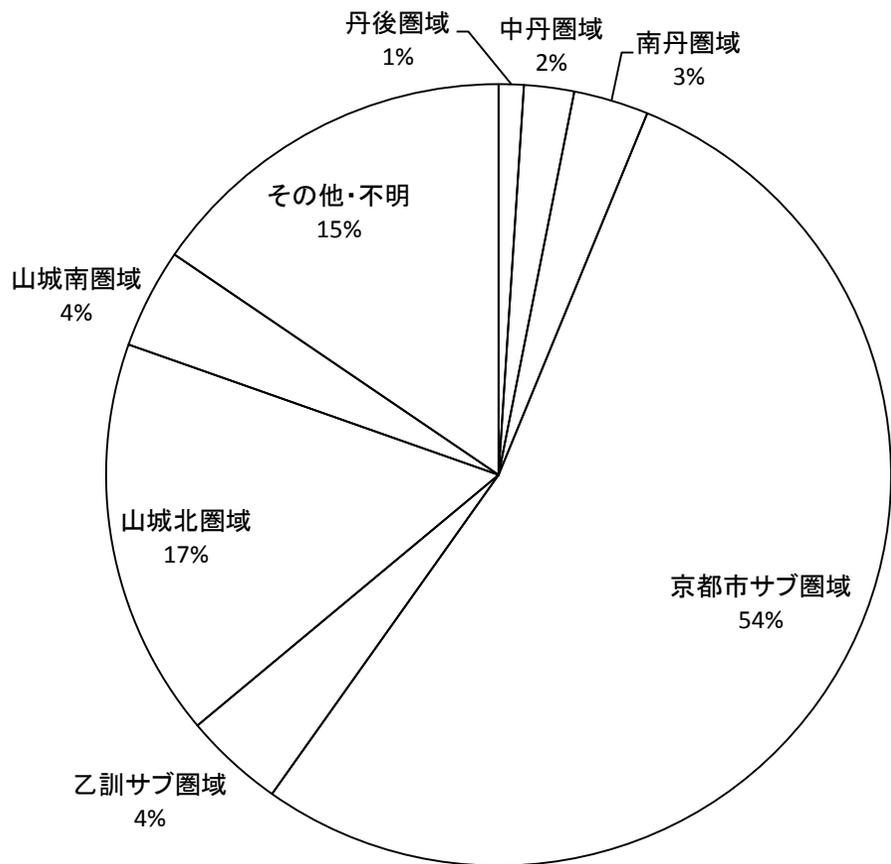
【2 特定相談等の種類別】

○条例の特定相談に該当すると考えられるものは、55件、相談全体の56.7%

○「その他」の42件の内訳は、条例第5条の「環境の整備」に該当と思われるハード面の整備について、その他制度のといあわせ、生活支援に関する相談など

特定相談の種類	件数
不利益取扱い	8
合理的配慮	25
不快の念	17
虐待	5
複合的な原因	0
その他	42
合計	97

< 相談実績（平成28年度暫定版） >

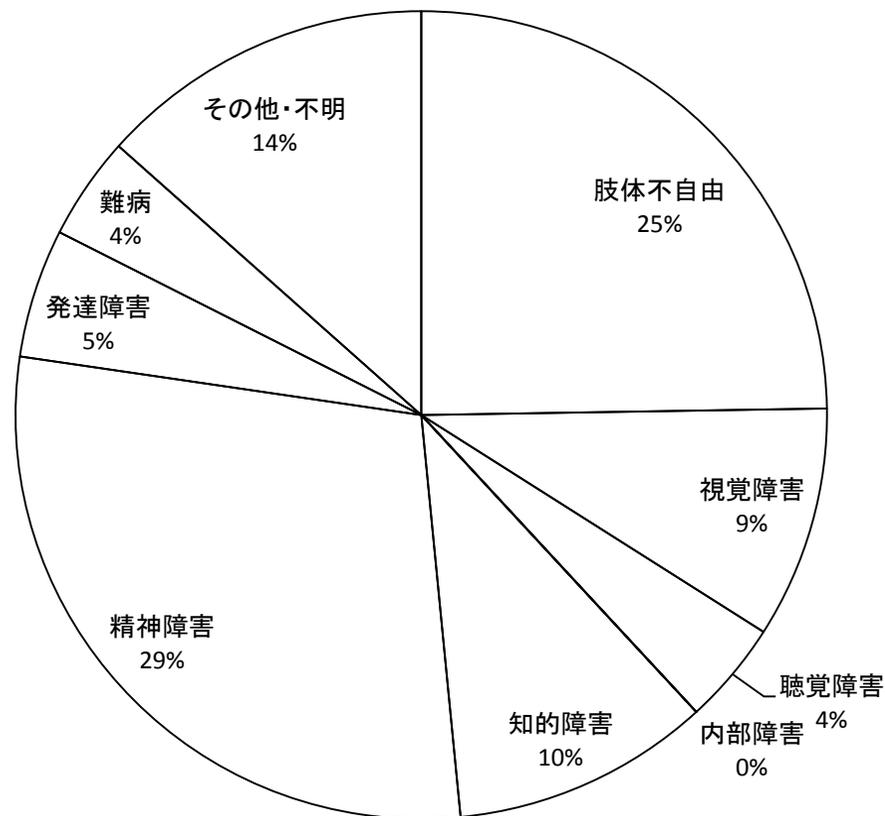


【3 発生地の圏域別】

○発生地は、京都市サブ圏域が53.6%を占めるが、概ね府内の人口分布(57.5%)に合致する
 ○「その他」は、京都府外での案件や不明など

圏域名	件数
丹後圏域	1
中丹圏域	2
南丹圏域	3
京都市サブ圏域	52
乙訓サブ圏域	4
山城北圏域	16
山城南圏域	4
その他・不明	15
合計	97

< 相談実績（平成28年度暫定版） >



【4 相談者等の障害種別】

○複合して障害をお持ちの方については、相談内容に関係が深いと考えられる障害種別で分類した
 ○相談が多かった障害種別は、精神障害をお持ちの方からが28件で最も多く、ついで肢体不自由をお持ちの方からが24件

障害種別	件数
肢体不自由	24
視覚障害	9
聴覚障害	4
内部障害	0
知的障害	10
精神障害	28
発達障害	5
難病	4
その他・不明	13
合計	97